

(講座) 環境薬科学
(氏名) 淵上 剛志

(研究室) 衛生化学
(職名) 助教

【研究テーマ】

1. がん選択的な核医学診断の実現を目指したイメージング剤の開発
2. 脳神経疾患の病態解明及び早期診断を目的とした核医学イメージング剤の開発

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. M. Haratake, T. Sakano, T. Fuchigami, M. Nakayama : Thiol-targeted introduction of selenocysteine to polypeptides for synthesis of glutathione peroxidase mimics. *Metallomics.* , 3, 702-709 (2011). (IF:3.592)
2. M. Haratake, K. Koga, M. Inoue, T. Fuchigami, M. Nakayama: Absorption and retention characteristics of selenium in dorsal root ganglion neurons. *Metallomics.* , 3, 1019-1026 (2011). (IF:3.592)
3. H. Watanabe, M. Ono, H. Kimura, S. Kagawa, R. Nishii, T. Fuchigami, M. Haratake, M. Nakayama, H. Saji : A dual fluorinated and iodinated radiotracer for PET and SPECT imaging of β -amyloid plaques in the brain. *Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters.* , 21, 6519-6522 (2011). (IF:2.661)
4. T. Fuchigami, M. Haratake, Y. Magata, T. Haradahira, M. Nakayama : Synthesis and characterization of [125 I]2-Iodo *N*-[(*S*)-{(*S*)-1-methylpiperidin-2-yl}(phenyl)methyl]3-trifluoromethyl-benzamide as novel imaging probe for glycine transporter 1. *Bioorganic & Medicinal Chemistry.* , 19, 6245-6253 (2011). (IF:2.978)

(A-b) 総説

1. S. Yoshida, M. Haratake, T. Fuchigami, and M. Nakayama : Selenium in Seafood Materials. *Journal of Health Science.* , 53, 215-224 (2011). (IF:0.742)

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. T. Fuchigami, A. Takano, Gulyas, B. Gulya, Z. Jia, S. Finnema, J. Andersson, Y. Magata, M. Haratake, M. Nakayama, C. Halldin : Synthesis and preliminary evaluation of a C-11 labeled *N*-{phenyl(piperidin-2-yl)methyl}benzamide derivative for visualization of glycine transporter 1 with PET. The 19th International Symposium on Radiopharmaceutical Science (第19回国際放射性医薬品科学シンポジウム), 2011年8月(オランダ)

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 小川綾華, 渡邊裕之, 小野正博, 新 竜一郎, 西田教行, 小橋信弥, 瀧口 徹, 淵上剛志, 原武 衛, 中山守雄: アミロイドイメージングプローブとしてのスチリルクロモン誘導体の評価. 日本薬学会第 131 年会, 2011 年 3 月(静岡)
2. 中山守雄, 下川研太, 針谷峻平, 岩竹真弓, 淵上剛志, 原武 衛: 臨床用 PET のための $^{68}\text{Ge}/^{68}\text{Ga}$ ジェネレータシステムの開発-酸性基を導入した N-メチルグルカミン型樹脂の吸着特性の検討-. 日本薬学会第 131 年会, 2011 年 3 月(静岡)
3. 淵上剛志, 原武 衛, 間賀田 泰寛, 原田平 輝志, 中山守雄: 脳内グリシントランスポーター1 を標的とした SPECT 用イメージングプローブの開発. 日本薬学会第 131 年会, 2011 年 3 月(静岡)
4. 北郷真史, 原武 衛, 淵上剛志, 中山守雄: An export mechanism of selenium from red blood cell via anion exchanger 1. 第 21 回金属の関与する生体関連反応シンポジウム(SRM2011), 2011 年 5 月(千葉)
5. 中山守雄, 下川研太, 針谷峻平, 岩竹真弓, 淵上剛志, 原武 衛: 臨床用 PET のための $^{68}\text{Ge}/^{68}\text{Ga}$ ジェネレータシステムの開発-酸性基を導入した N-メチルグルカミン型樹脂の分離特性の検討-. 日本分析化学会 第 60 年会, 2011 年 9 月(名古屋)
6. 北郷真史, 原武 衛, 淵上剛志, 中山守雄: セレノトリスルフィドリレー機構によるセレンの膜輸送. フォーラム 2011: 衛生薬学・環境トキシコロジー, 2011 年 10 月(金沢)
7. 吉田さくら, 原武 衛, 淵上 剛志, 中山 守雄: 煮干だし中セレン含有物質のスペシエーション. フォーラム 2011: 衛生薬学・環境トキシコロジー, 2011 年 10 月(金沢)
8. 小川綾華, 渡邊裕之, 小野正博, 新 竜一郎, 西田教行, 山下有紀, 淵上剛志, 原武 衛, 中山守雄: アミロイドイメージングプローブとしてのスチリルクロモン誘導体の評価. 第 51 回日本核医学会学術総会, 2011 年 10 月(つくば市)
9. 山下有紀, 小川綾華, 小野正博, 淵上剛志, 原武 衛, 中山守雄: アミロイドイメージングプローブとしての ^{125}I 標識カルコン誘導体の合成と評価. 第 51 回日本核医学会学術総会, 2011 年 10 月(つくば市)
10. 淵上剛志, 高野晶寛, Balazs Gulyas, Zhisheng Jia, Sjoerd J. Finnema, Jan D. Andersson, 間賀田泰寛, 原武 衛, 中山守雄, Halldin Christer : ^{14}C N-Methyl-SSR504734 の脳内 glycine transporter 1 を標的とした PET イメージング剤としての有用性評価. 第 11 回放射性医薬品・画像診断薬研究会, 2011 年 12 月(京都)

【特許】

1. 中山守雄、原武 衛、淵上剛志、岩竹真弓: ^{68}Ge - ^{68}Ga ジェネレータ用の Ge 吸着剤.
特願: 2011-232213, 平成 23 年 10 月

【研究費取得状況】

1. 腫瘍選択的な核医学診断の実現を目指した新規 Survivin イメージング剤の開発；
日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究 B
2. 腫瘍選択的な核医学診断の実現を目指した新規 Survivin イメージング剤の開発；
大学高度化推進経費 若手研究者への研究支援事業（長崎大学）

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	18 編	（邦文）	0 編
総説（欧文）	1 編	（邦文）	1 編
著書（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
紀要（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
特許	1 件		